

4月臨時会

4月22日、市長より急を要する議案が提出され、臨時議会が招集されました。下記議案の審議が行われ、いずれも原案のとおり、全会一致で承認、可決、同意されました。

4月臨時議会に提案された議案

●議案第66号 専決処分の承認を求めることについて

専決内容 後期高齢者医療保険料収入が想定を上回り、広域連合納付金に係る歳出予算に不足が生じ、予算措置が緊急に必要なため。

●議案第67号 専決処分の承認を求めることについて

専決内容 地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車税の種別割の区分を追加などの改正が緊急に必要なため。

●議案第68号 複合施設整備事業施設建設建築工事請負契約について

内 容 契約金額 44億7,920万円
契 約 先 藤田・佐藤特定建設工事共同企業体

●議案第69号 令和7年度白河市一般会計補正予算（第1号）

内 容 歳入歳出補正総額 1億2,927万3千円の増額
歳入 国庫支出金1億1,207万4千円、繰入金1,719万9千円の増額補正
歳出 商工費（商工業振興対策事業）1億2,927万3千円の増額補正

議案第68号 「複合施設整備事業施設建設建築工事請負契約」に対する質疑（大竹・深谷市議）

大竹 功一 議員

（会派：開かれた議会をめざす会）



- Q** 一定額の請負工事契約については、原則制限付一般競争入札で行うこととなっているが、今回指名競争入札で行うこととなった経緯について伺う。
- A** 今回の建築工事は、大規模かつ技術難易度の高い工事であることから、高い技術を有する大手ゼネコンによる指名競争入札とした。
- Q** 昨年12月19日に行われた入札は不調に終わり、本年4月10日に行われた2回目の入札には、県内の実績のある企業を指名し行ったようだが、なぜ当初から指名に加えなかったのか。
- A** 12月に行われた入札では、大手ゼネコンを指名の対象とした結果、不落という結果になったことを踏まえ、4月は経営審査総合評点1,100点以上の技術力が高く、施工能力を有する、2者構成による特定建設工事共同企業体の県内企業を応札の条件としたところである。
- Q** 1回目と2回目で予定価格が税抜37億5,600万円から40億7,400万円へ増額されている。4か月余りで3億円以上が増額されたがその理由は何か。
- A** 前回の入札不落により、工事発注時期が変更になることから、市場価格を再調査し、その結果、屋根の外装工事で12.6%、鉄骨工事で7.7%の上昇が見られ、全体で8.5%増の40億7,400万円となった。

深谷 弘 議員

（会派：開かれた議会をめざす会）



- Q** 複合施設整備事業の施設建設建築工事の入札結果について、答弁を求める。
- A** 令和6年12月19日の入札は、大手ゼネコン3者による指名競争入札となったが、事前に2者が辞退したため入札中止となった。残る1者と随意契約による見積合わせを実施したが、一回目は予定価格の範囲に至らず、2回目は辞退したことで不調になった。令和7年4月10日の入札では、県内企業6者を選定、2者構成による特定建設工事企業体のうち2共同企業体が入札、再入札まで行ったが、予定価格の範囲に至らず「不落」となった。しかし、再入札の最低価格が随意契約できる範囲内であったため、事業者と見積合わせを行い、随意契約による仮契約を締結した。
- Q** 契約額は、12月19日入札の予定価格を上回っているが、3月定例会で増額補正した予算に影響はあるのか。将来、事業費の増嵩はあるのか。
- A** 3月補正で増額の継続費予算の範囲内に収まっている。今後人件費や資材費上昇、設計変更があれば増額もありえる。